

中国経済経営学会 2016年度全国大会プログラム

2016年11月5日(土)、6日(日)

会場:慶應義塾大学三田キャンパス・西校舎

<https://www.keio.ac.jp/ja/maps/mita.html>

主催:中国経済経営学会

共催(企画分科会):アジア政経学会、日本現代中国学会

協賛(共通論題):一般財団法人霞山会

1. 大会概要

開催日: 2016年11月5日(土)、6日(日)

会場: 慶應義塾大学三田キャンパス・西校舎

主催: 中国経済経営学会

共催(企画分科会): アジア政経学会、日本現代中国学会

協賛(共通論題): 一般財団法人霞山会

大会運営委員会: 駒形哲哉(慶應義塾大学・実行委員長)、曾根康雄(日本大学・プログラム委員長)、中川涼司(立命館大学・委員)、劉徳強(京都大学・委員)

連絡先: 108-8345 東京都港区三田2-15-45 慶應義塾大学経済学部駒形研究室
E-mail: jacem201611@gmail.com

諸費用: 参加費(資料代)1,000円、懇親会費5,000円(院生会員等3,000円)、弁当代1,000円(6日昼食、予約者のみ)

1日目(11月5日)スケジュール

11:00-12:30 理事会(525-B教室)

12:00- 受付開始(西校舎2階)

13:00-16:30 共通論題「日系企業の中国展開～激変する市場環境への対応と現場からの展望」現場からの展望(527教室)

16:45-17:45 会員総会(527教室)

18:00-19:30 懇親会(北館ファカルティクラブ)

2日目(11月6日)スケジュール

09:00- 受付開始(西校舎2階)

09:40-12:10 分科会報告

12:10-13:30 昼休み

理事会(525-B教室)

13:30-16:00 分科会報告

合同企画:「加藤弘之『中国経済学入門』との対話」(527教室)

2. 一般財団法人霞山会協賛 共通論題「日系企業の中国展開～激変する市場環境への対応と現場からの展望」(527教室)

5日(土) 13:00-16:30

【趣旨】

中国経済は「世界の工場」として世界経済の拡大を牽引し、リーマンショック直後には世界経済の落ち込みを巨額の景気対策で下支えた。しかし、「新常态」と表現されるその後の中国経済は、景気対策の後遺症への対応と内需主導型成長方式への転換に苦心している。この間、各種調査では中国市場に対する期待は依然強いものの、日本からの対中新規直接投資も低調に推移し、一部では少なからぬ事業の撤退も発生していることが示されている。他方、中国における激しい経営環境の変化に対応して長く事業を継続してきた日系企業があることも事実である。

本セッションは中国経済の変化をくぐり抜け、日系企業の中国拠点の経営現場を率いてこられた現地経営者をお迎えして、経営環境の変化への対応のあり方をうかがい、両社の展開を切り口に、中国経済の今後と日系企業の中国ビジネスの可能性を展望したい。

【登壇者】

座長・整理解説 服部健治(中央大学教授)

講演1 越智博通(北京陸通印刷有限公司董事長)

30年前に1人、北京でラベル印刷を始め、今や天津、上海にも工場を持つようになった苦勞の経緯から、中国人相手の商売の極意、中国社会の世相の変化などもお話いただきます。

講演2 中山国慶(大宇宙信息創造(中国)有限公司董事長)

経営不振にあえぐ中国拠点のオフショア・アウトソーシング事業を十数年前に立て直し、近年では人件費上昇、為替変動に対応した拠点配置、新規事業展開を中国国内で巧みに行ってきた経験についてお話いただきます。

予定討論者 海上泰生(日本政策金融公庫総合研究所主席研究員)

3. 中国経済経営学会・アジア政経学会・日本現代中国学会合同企画 「加藤弘之『中国経済学入門』との対話」(527教室)

6日(日) 13:30-16:00

【趣旨】

2016年8月30日、加藤弘之神戸大学教授が亡くなった。61歳の誕生日を目前にしての余りに早い死であった。不幸中の幸いは、加藤教授が「私にとっての最高傑作」と自負する『中国経済学入門』(名古屋大学出版会、2016年)を亡くなる数か月前に遺していったことである。中国の独自性を解明する「学」の樹立をめざした本書のなかで、加藤教授は「筆者の思考がまだまだ荒削りな段階であり、より洗練された理論的な叙述は、後進に委ねるほかない」と書いている。死期が近いことを意識し、本書の問題提起を、遺された研究者たちが受け止めて発展させてほしいという強い願いが込められた一文である。

『中国経済学入門』は、曖昧な制度にこそ中国の独自性と発展性の核心があるという仮説のもと、土地の集団所有、地方政府間の競争、企業の混合所有制、中国式のイノベーションなどの事例から、曖昧さが中国の発展に積極的な意義を持っていることを例証している。他方で、汚職と格差の問題に、曖昧な制度の持つ弊害を見ている。

『中国経済学入門』は、中国研究によって経済学を革新しようという野心的な目標に向けた第一歩と位置づけられており、タイトルの「入門」にはその意図が込められている。加藤教授が遺したこのバトンをどう受け取るのか。

本企画分科会では、『中国経済学入門』をどう読むか、そのメッセージをどう受け取ったのかを学問分野や研究対象地域の枠を超え、さまざまな角度から議論したい。本分科会ではいわゆる「報告者」は『中国経済学入門』で、登壇者はすべてそれに対するコメンテーターという位置づけである。登壇者以外からも『中国経済学入門』に対する積極的な発言を期待する。

なお、本企画分科会は中国経済経営学会の大会のなかで開催されますが、アジア政経学会と日本現代中国学会の会員も自由に参加できます。

登壇者：毛里和子(早稲田大学名誉教授)

中兼和津次(東京大学名誉教授)

菱田雅晴(法政大学)

川端 望(東北大学)

司 会：丸川知雄(東京大学)

4. 実行委員会からのお知らせ

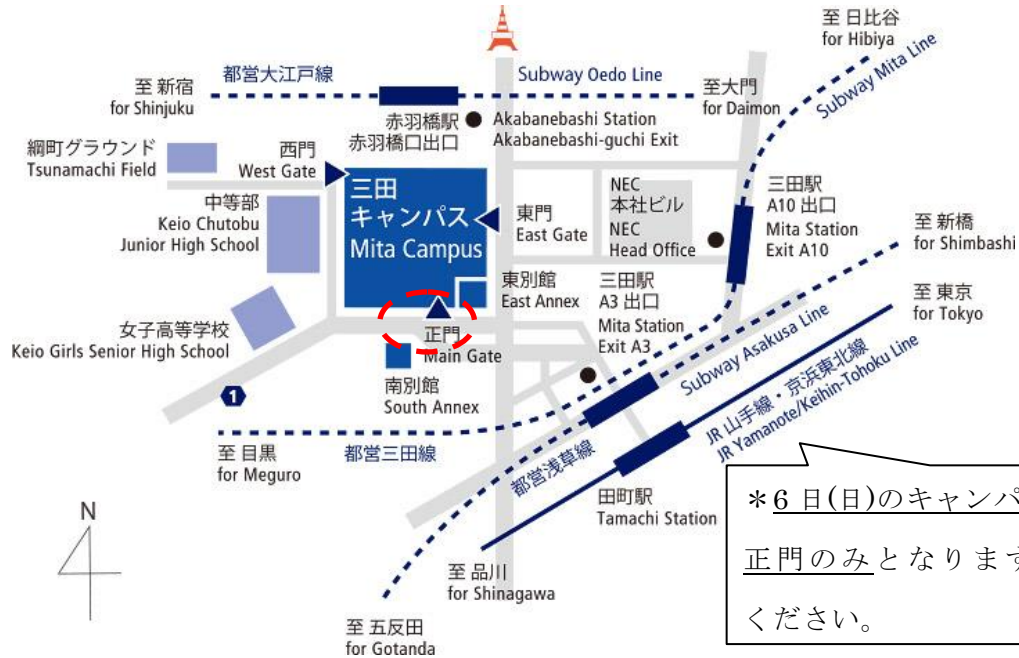
4-1) 要旨集や名札の準備、会場の設定のため、メールまたは同封の返信葉書にて参加ご希望の分科会や懇親会の参加の有無をお知らせくださるようお願いいたします。

4-2) 11月6日の昼食について主催者側では、事前に予約をいただいた方のみ、お弁当を用意いたします。学校周辺にも日曜日にも開業している飲食店がいくつかあります。

4-3) 参加費、懇親会費、弁当代については事前の払い込みを歓迎します。同封した払い込み用紙に該当事項を記入の上、学会年会費とともに郵便局にて払い込みください。

交通アクセス

- ・田町駅 (JR山手線 / JR京浜東北線) 徒歩8分
- ・三田駅 (都営地下鉄浅草線 / 都営地下鉄三田線) 徒歩7分
- ・赤羽橋駅 (都営地下鉄大江戸線) 徒歩8分



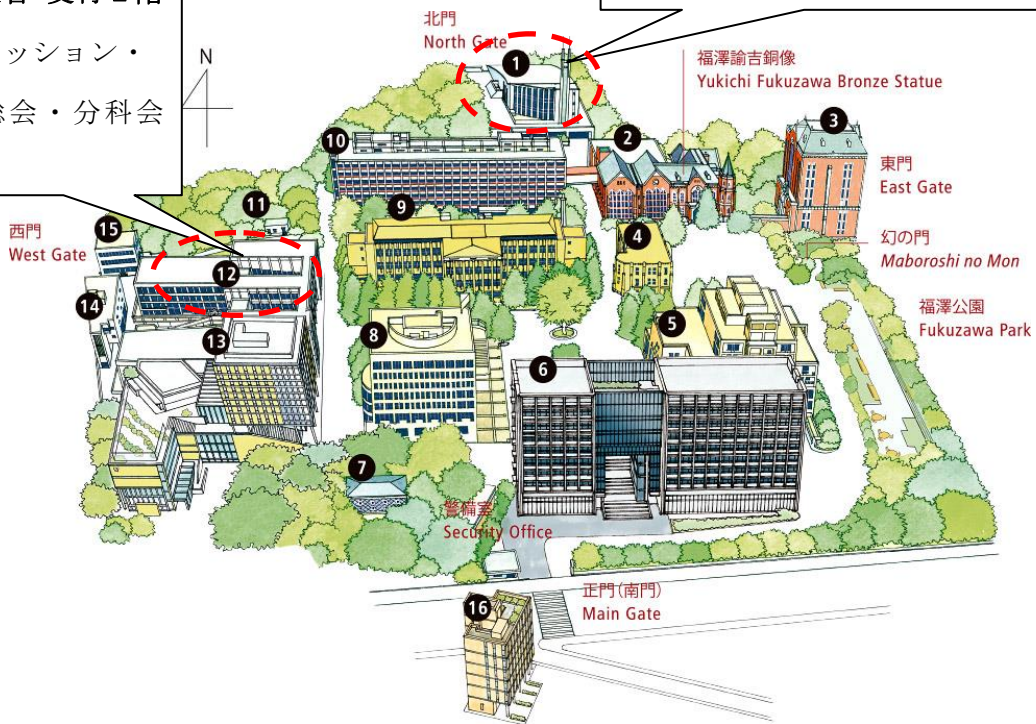
キャンパスマップ

⑫西校舎 受付2階

特別セッション・
会員総会・分科会
会場

①北館 受付1階

懇親会会場「ファカルティクラブ」



大会1日目【11月5日(土)】のタイムテーブル

11月5日(土)	
11:00~	11:00~12:30 理事会(旧年度) 【会場】523B教室
12:00~	12:00~ 受付 【場所】西校舎2階
【会場】 527教室	<共通論題> 一般財団法人霞山会協賛 「日系企業の中国展開—激変する市場環境への対応と現場からの展望」
共通論題Ⅰ 13:00-14:45	13:00-13:05 趣旨説明 登壇者紹介(座長 服部健治 中央大学教授) 13:05-13:10 協賛挨拶(池田 維 (財)霞山会理事長・元(財)交流協会台北事務所代表) 13:10-13:50 講演1「百戦錬磨の中国ビジネス」 越智 博通(北京陸通印刷有限公司董事長) 13:50-14:30 講演2「中国進出以来の事業展開と近年の経営環境の変化への対応について」 中山 国慶(大宇宙信息創造(中国)有限公司董事長) 14:30-14:45 整理・解説 服部 健治 (中央大学教授)
14:45-15:00	休 憩
共通論題Ⅱ 15:00-16:30	15:00-15:20 予定討論 海上 泰生(日本政策金融公庫総合研究所主席研究員) 15:20-16:00 討論 16:00-16:30 フロアとの対話
16:45-17:45	会員総会 【会場】 527教室
18:00-19:30	懇親会 【会場】 北館ファカルティクラブ

大会2日目【11月6日(日)午前】のタイムテーブル

11/6(日) 午前		座長	第1会場(524教室)	座長	第2会場(522教室)	座長	第3会場(523A教室)	座長	第4会場(523B会場)	座長	第5会場(525A教室)
			A. 産業・技術		B. 貿易・投資		C. 労働		D. 金融(英語)		E. 地域・環境
9:40- 10:30	報告者	大原 盛樹 (龍谷大学)	林 松国(小樽商科大学)	村上 直樹 (日本大学)	黄 孝春(弘前大学)	大島 一二 (桃山学院大学)	石塚 浩美(産能短大/産能大学)	渡邊 真理子 (学習院大学)	方 盈羸(京都大学大学院)	金澤 孝彰 (和歌山大学)	南海龍(ハルビン商業大学)
	題目		中国における自動車部品産業集積発展のプロセス—浙江省温州市の事例—		鉄鉱石貿易方式の転換		中国企業における男女の労働需要の代替・補完分析—日本企業・韓国企業との比較—		Bank ownership structure and efficiency:Evidence from China		中国経済“新常态”下の区域金融発展
	討論者		中山 健一郎(札幌大学)		劉 徳強(京都大学)		孟 哲男(同志社大学)		渡邊 真理子(学習院大学)		唐 成(中央大学)
10:30- 11:20	報告者		阮 玉玲(拓殖大学大学院)		劉 曙麗(福山大学)		孟 哲男(同志社大学)		唐 斌(中央大学大学院)		穆 堯芊(環日本海経済研究所)
	題目		中国広東省における所有制別企業の市場競争と生産性に関する数量的分析—製造業企業レベルデータに基づく分析—		日本企業の中特許出願の決定要因—特許、財務、海外進出データの接続—		中国女性の性別役割分業意識と就業行動—CGSS-2006/2010/2012/2013を基に—		How does Commercial Credit Guarantee Company (CCGC) function on SMEs accessing bank loans in China—An empirical study of Wu Xing CCGC		中国の地域開発政策の展開—地方主体の地域発展戦略の形成と実態—
	討論者		加藤 篤行(金沢大学)		今道 幸夫(三協国際特許事務所)		劉 洋(経済産業研究所)		随 清遠(横浜市立大学)		金澤 孝彰(和歌山大学)
11:20- 12:10	報告者				張 紅咏(経済産業研究所)		大島 一二(桃山学院大学)		東 倩霏(京都大学大学院)		清水 政行(琉球大学)
	題目				Policy Uncertainty and Foreign Direct Investment: Evidence from the China-Japan Island Dispute		中国農村における労働力資源の利用状況と展望—農村住戸調査(CHIP)2013に基づいて—		High and new tech enterprise performance and financial constraint: Is cluster efficient?		中国工業の環境効率性と汚染低減対策の効果に関する実証分析
	討論者				村上 直樹(日本大学)				葉 剛(東北大学)		竹蔵 一紀(龍谷大学)
12:10-13:30 昼食休憩											
理事会(新年度) 【会場】525B教室											

大会2日目【11月6日(日)午後】のタイムテーブル

		12:10-13:30 昼食休憩		理事会(新年度) 【会場】525B教室	
11/6(日) 午後	座長	第1会場(524教室)	座長	第2会場(522教室)	第6会場(527教室)
		F. 資産価格・賃金		G. 経営	中国経済経営学会・アジア政経学会・日本現代中国学会合同企画 (13:30~16:00)
13:30- 14:20	報告者	劉 洋(経済産業研究所)	中川 涼司 (立命館大学)	三重野 文健(Global Research & Innovative Solutions)	加藤弘之『中国経済学入門』との対話 登壇者 毛里 和子(早稲田大学名誉教授) 中兼 和津次(東京大学名誉教授) 菱田 雅晴(法政大学) 川端 望(東北大学) 司 会 丸川 知雄(東京大学)
	題目	中国の大卒の就職と初任給の決定要因について:マイクロデータに基づく分析		中国半導体産業における投資動向及び日本半導体産業に与える影響について	
	討論者	稲田 光朗(宮崎公立大学)		中川 涼司(立命館大学)	
14:20- 15:10	報告者	韓 池(大阪府立大学大学院)		陳 磊(中央大学大学院)	
	題目	What Drives Housing Price Fluctuations in China? Evidence from an Estimated DSGE Model		ハウス食品の中国事業展開の成功要因分析—中国人はなぜカレーを食べるようになったか—	
	討論者	南川 高範(環日本海研究所)		苑 志佳(立正大学)	
15:10- 16:00	報告者	王 威(法政大学大学院)		小布施 京子(中央大学大学院)	
	題目	中国の年金問題—農民工年金加入率に関する分析—		日系食品メーカーの中国ビジネス戦略—敷島製パンの事例を中心とした競争優位モデルのさらなる構築—	
	討論者	澤田 ゆかり(東京外国語大学)		苑 志佳(立正大学)	